

# 地域の交流づくりにオンラインイベント実施しませんか？

新しい住民の方の「ライフスタイル」や「ニーズ」にあったオンラインイベント！

地域との関わりを持ちたい、コミュニティ参加が大事と思っているが、町会は何をしているのか？どうやって参加するのがわからずに参加できないままになっている人もいます。そういう人は、まずは、様子を知りたい、ちょっと覗いてみたいと思っており、そうした関わりが持てるものを求めています。一方で、コロナ禍でオンラインの活用はビジネスや個人のコミュニケーションのツールの一つとして定着し「オンラインで参加する」は日常のこととなっています。「オンライン」は、そうした新しい人のニーズやライフスタイルに合った参加形態といえます。

■ 今回のイベント参加者の 今後の参加意欲は？	今後もオンラインイベントに参加したい	100%
	今後もオンライン交流に参加したい	65%

## 「オンラインイベント」を町会への参加の最初の接点づくりに！

今回のイベントには、地域に関心があっても、地域の活動に参加できていない人も多く参加していました。地元の情報を伝えるオンラインイベントは、比較的町会等のコミュニティ活動にこれから参加する可能性の高い人との「最初の接点づくり」となる可能性が見込めます。

### ■ 今後どんなオンラインイベントに参加したい？

- 歴史や、地域の取り組み、地域の良いお店情報などに興味がある！
- 防災などテーマの勉強会
- 単発でなくてシリーズで定期的実施してもらいたい！
- 地元のお店について知りたい
- お祭や地元のイベントなどについて知りたい！
- 町会って何？を知りたい！
- まち歩きや対面での交流会とのセットでの実施

## 「オンラインイベント」をお手伝いします！

町会や地域での新しくお住まいになった人との接点づくりや、地域のコミュニケーション活性化のため、オンラインを活用してみませんか？ ちよだコミュニティラボでは、イベントやオンライン交流のお手伝いをします！ご質問やご不明点、お問い合わせなどは、以下へご連絡ください。

### お問い合わせ

千代田区 地域振興部コミュニティ総務課  
TEL：03-5211-3656 FAX：03-3264-7989  
E-mail：komisoumu@city.chiyoda.lg.jp

### 運営事務局

ちよだコミュニティラボ事務局  
chiyolab@empubli.jp  
(株)エンパブリック

<https://chiyolab.jp>



# 「まちの歴史」を コミュニケーションのきっかけに！

## オンラインちよだ探訪(番町・麴町)の事例より

2022年12月2日に、地域の歴史や地域のお店、活動について、六番町町会の新井巖会長をはじめとした地元の方のお話を聞くオンラインイベント「オンラインちよだ探訪(番町・麴町編)」を開催しました。番町・麴町にお住まいの方を中心に、新しい住民の方、町会活動に参加していない方などの22人の参加がありました。

### イベント内容

## オンラインちよだ探訪 - 歴史・老舗・地域活動に出会おう！ -

■ 開催日：2022年12月2日(金) ■ 時間：19:30-21:00 ■ Zoomによるオンライン開催

- 1 番町・麴町の歴史の話  
(六番町町会会長 新井巖さん)
  - 番町・麴町はどんなまち？
  - まちの移り変わり
  - 文人通りについて
- 2 番町・麴町のお店の話
  - よろず屋酒店(明治創業)安田郁子さん
  - 地元のお勧めのお店
  - あるまっぶの紹介
- 3 地域の活動について
  - 麴町消防団
  - ONECHIYODA 三浦祐介さん



当日の参加者



イベントチラシ

✓ 「地域の歴史」「地元のお店」「地域活動」を紹介することで  
新しい住民の方とのコミュニケーションのきっかけが生まれた！

### 参加者の声

自分の住んでいるところってスゴイと思った！

地域の活動が知れて充実した気持ちになった！

古くからお住まいの方の思いがよく伝わった！

番町・麴町に関する歴史・文化など、勉強になった。

思ったより親しみやすい人達で、町会への敷居が低くなった。

町会長さんがお話をしてくれて、顔が知れて有り難かった！



六番町町会会長  
新井巖さん

Zoomでご参加の方も、熱心に聞いていただき、大変楽しくまた勉強になりました。町会への敷居も、どうすれば低くできるか一考させられました。また、参加者の方の様々なまちへの想いが感じられました。これを機会に、何か新たな動きが生まれてきたら嬉しいです。



## 共感する気持ちから地域への参加がはじまる！

直接的に話を聞くことで、自分とは縁遠いと思っていた「地域」に対するハードルが下がり親しみを持てるようになってきます。地域のことを知ること、歴史を知ること、地域活動に参加しようという意欲も高まります。



### 「地元の人への想いが知れて良かった！」という回答アンケートが多数！

「地域の有益な情報を知りたい」「歴史を知りたい」動機で参加していましたが、結果として「地元の人への想いを知れた」ことがよかったという人が多く、書籍や表面的な情報だけでは知り得ない「思い」を知れたことが良かった！というアンケート結果でした。

まちの歴史に興味があった

地域の情報を知りたかった



地域の情報や新井会長・安田さんの話を聞いて「人に対する共感」が生まれ「地域への思いを知ってよかった」という声が多かった。



### 地域活動に参加したことがないが、実は活動に関心がある人がたくさんいた！

お祭りに関わりたいが、どうやって参加するのか。私が町会に入っているのか、人の紹介があるのかなと思い、参加できていなかった。

朝ドラみたいな地域のつながりがある生活に憧れている。趣味を通じた地元の友達がほしい。

20年以上住んでいるが、知り合いがいなくてイベントに参加し始めた。本で読むまちの歴史ではなく、リアルなまちに関わる人の思いを知りたい。

住み始めて5年。地域の掃除や区主催の講座などを参加することで、地元の顔見知りも増え、今日は町会のことも聞けたので、今年は新年会にも参加する予定。

町会の人顔の顔の見えない存在だった

どんな人達なのかわからなかった



顔を知り、話を聞き「地域に暮らす普通の人」「〇〇さん」という人として知る存在となったことで、町会に対するイメージが変わったり、参加のハードルを低くすることにつながった。



## 当日はオンラインで開催！（Zoomにて）

本イベントは、オンライン会議ツール「Zoom」を活用して開催しました。新井会長をはじめとしたゲストの方にも、それぞれ、Zoomでご参加いただきました。説明用の資料は、ゲストのお話に従い、運営事務局が「Zoom」の画面共有を行いながら進行了。ゲストの新井会長・安田さん・三浦さんもオンラインで参加してもらいました。



オンライン参加される新井会長と安田さん



当日の様子

### オンライン参加者の声

手軽に受講ができるのが嬉しいし、話が集中して聴ける

コロナ禍で外出が出来ず、オンライン受講が楽しい時間！

忙しいので作業しながら聴けるオンラインが有難い

会場だと参加できないが、オンラインなら参加できる！

遅刻しても入りやすい、不参加でもアーカイブで見れる！

交流もしたかった！オンラインも会場も両方があると良い



## イベント開催までの流れと企画・準備のポイント

企画を決める

■ 自分のまちのことと思ってもらえるように、地区を絞る（番町・麴町など）

日時を決める

■ 新しい住民や現役世代に参加してもらうためには、平日の遅めの時間（19:30以降）に設定

話をする人を選定

■ 町会長や古くからお住まいの人、地元のお店の方に話してもらうことで「思い」が伝わる！新しく町会や地域に参加している人の話もあると共感を得やすい。

チラシづくり

■ 名所だけでなく、街の馴染みのある風景の写真を入れる。

事前準備

■ 古い写真など、当日共有できる資料をパソコンで画面で見せられるように準備  
■ 事前にゲストと今回の目的や新しい人が興味があるところなど、伝えるポイントを考える

イベント実施

■ イベントの記録やアーカイブ用の録画は、Zoomの機能を使えば簡単にできる！  
■ オンライン参加が難しい方には、会場にパソコンを用意して参加してもらうなどの対応もできる。

報告レポート作成・発信

■ 次の企画の参考にするためにアンケートをとる  
■ 当日の様子をホームページやSNSで発信すると、新しい参加への呼びかけにもなる